

0511

265

第六艦隊  
戰時  
日誌

第六艦隊機密第三三號ノ六九

自昭和十七年八月一日  
至昭和十七年八月三十一日

第六艦隊司令部  
旗艦香取部

7  
15



一 經過 目次

- (一) 一般情勢及敵軍之情勢
- (二) 任務編制配備
- (三) 作戰指導

二 人員

- (一) 司令部職員
- (二) 麾下總人員
- (三) 令達報告等

四 參考

- (一) 麾下艦船之行動
- (二) 戰訓

五 作戰經過之概要



昭和十七年 八月三十一日 第六艦隊 戦時 日誌

一、経過

(一) 一般情勢及敵軍ノ情勢

(1) ソロモン方面作戰

(1) 通信謀報ニテ豪洲東岸「フィジー」「ニューカレドニア」方面ニ敵艦船ノ行動ヲ頻々ト傳ヘアリシ處八月七日戦艦一、巡洋艦三、駆逐艦一五及輸送船數十隻ヨリ成ル敵有力部隊「ソロモン」群島ニ來襲「ガダルカナル」及「ツラギ」基地ニ上陸シ爾後同島ニ於テ

彼我兩軍對峙中ナリ

(2) 第一次「ソロモン」海戦(八月七日)ニ於テ我ハ基地航空部隊及水上艦艇ヲ以テ之ヲ泊地附近ニ捕捉其ノ大部ヲ撃破セリ

- (3) 我ハ増援部隊ノ急派ニ依リ之ガ奪回ヲ期シ敵亦之ガ確保ヲ企圖シ今尚作戰續行中ナリ
- (4) 當艦隊ハ濠洲方面作戰中ナリシ 3SSB (132) ヲ「ツラギ」方面ニ急行敵攻撃ニ任ゼシムルト共ニ内地ニ在リテ次期作戰準備中ナリシ 1SSB 3Sg (各一部欠) ヲ急速同方面ニ進出配備ニ就カシム 尚内地ニテ整備中ノ 2SSB 及 8SS (一部欠) ニ對シテハ急速整備進出準備ヲ促進セシム
- 香取ハ聯合艦隊司令部及潜水部隊ノ「カ」號作戰ニ関スル打合せノ後十八日横須賀發「トラツク」ニ進出先遣部隊ノ指揮並ニ作戰支援ニ任ズ
- (4) 其ノ他
- 八月以降先遣部隊ノ作戰ハ印度洋及阿弗利加

東岸ノ交通破壊ニ指向セララル豫定ナリシ處ヲソロモ  
 ニ方面ノ情勢急變ノタメ其ノ大部ヲ同方面ニ集  
 中スルコトナレリ

(二) 任務編制配備  
 (1) 軍隊區分及任務配備

先遣部隊	區分	指揮官	兵力	任務及配備
ISSB	第六艦隊	司令官	直率	作戰打合ノ爲八月一日クエエリン發同八日横須賀發 着同十八日横須賀發同二十四日トシクニ進出全 作戰支援 ソロモン方面敵艦出現セルヲ以テ横須賀ニ於 テ印度洋方面出動準備中ナリシISS(132)ハ吳潛 水艦ハ八月十五日横須賀發本邦東方海面ヲ 掃蕩シツソソロモン方面ニ急行作戰ニ從事 二十五日ハ損傷トシテ回航修理ニ從事 132ハ3SS司令官ノ指揮ヲ承テ豪洲新西蘭方
ISS司令官	直率	ISS司令官	香取	
ISS	香取	ISS	ISS	

遣	先	
	2SSB	
隊	艦	六
	2SS 司令官 (7sg司令)	第
	(7sg 2SS 17 18)	
<p>前月末濠洲新西蘭方面作戦ニ從事中ノ 處八月七日ツラギニ出現ノ敵攻略部隊攻 撃ノ爲ソロモン方面ニ急行作戦ニ從事 至八月廿七日南洋部隊ニ編入セラレ八月九日 以降SS司令官ノ統一指揮下ニアリテ各所 定任務ニ從事シタルモ兵器行動カノ關係 上逐次トミック又ハワホルニ編入セラレ 八月廿七日、八月十五日着(ワホルニ八月廿七日着)</p>	<p>2SS八月二十日附解隊 横須賀飯着大修理ニ從事 當隊ニ復飯同十七日キスカ發同二十三日 一時(至八月廿七日)北方部隊ニ編入八月十五日 番電ニ依ル特別工事及次期作戦準備ニ從事ス 前月末北方作戦ニ從事中ノ處當隊ニ復飯八月一日横須賀ニ飯着機密第六五〇番電ニ依ル特別工事及次期作戦準備ニ從事ス 前月末北方作戦ニ從事中ノ處當隊ニ復飯八月一日横須賀ニ飯着機密第六五〇番電ニ依ル特別工事及次期作戦準備ニ從事ス</p>	<p>面ニ在リテ作戦中ノ處二十八日ペナン着 平安丸八月十八日横須賀發同二十四日トミックニ進出トミックニ於テ母艦任務ニ 從事</p>

隊		部	
8SSB		3SSB	
官 長		司 令	
8SS 司令官		3SS 司令官	
愛國丸 8SS 報國丸		3SS	
<p>テ次期作戦準備中        3sg、前月末横須賀ニ於テ次期作戦準備        中ノ處、<sup>12421</sup>三十一日、作戦地ニ向テ横須賀發        122ハ引續キ横須賀ニ於テ修理中        121十五日吳發二十四日、<sup>12421</sup>着、<sup>129</sup>八月五日、<sup>12421</sup></p>		<p>整備補給ノ上、<sup>1174</sup>二十三日、<sup>1175</sup>二十二日、<sup>12421</sup>大々作        戦地ニ向テ出撃引續キ作戦ニ從事  <sup>12sg</sup> (1168、1172) 大修理ノ爲、吳ニ飯投八月二十四日、吳        着        八月四日、<sup>1176</sup>11sgニ編入セラレ、吳ニ於テ整備訓練        ニ從事        靖國丸八月六日、クエジエリンヨリ、トラックニ        航(八月九日、トラックニ着)、トラックニ於テ母艦        任務ニ從事  <sup>15g</sup>及<sup>110</sup>ハ印度洋阿非利加方面作戦中ノ處        夫々、<sup>12421</sup>ペナン、經由横須賀ニ向テ發、<sup>110</sup>十二日、<sup>116</sup>        二十六日、<sup>118</sup>二十日、<sup>120</sup>二十三日、横須賀飯着、次期        作戦準備ニ從事        報國丸、愛國丸前月二十七日以來、昭南ニ於</p>	

部		遣		先	
給	補	7SSB			
令		司		隊	
		7SS		艦	
		司令官		六	
新		7SS		第	
隱					
王					
丸					
戸					
八月二十日以降 印指揮下ニ入りソロモン方面 作戦ニ従事 04ハポートモレスビー監視中八月二十五日ポート モレスビー方面敵情報告ヲナシタル以後又 123ハ八月二十九日敵飛行機ノ制圧ヲ受ケ落 航ノ旨發電シタル以後何レモ無線通信杜 絶消息不明 迅鯨「ラボール」ニ於テ母艦任務ニ従事 隱戸八月九日「クエジエリン」ヨリ「トラク」ニ回航 (八月十三日「トラク」着)「トラク」ニ於テ補給任 務ニ従事 新王丸補給ノ爲八月八日吳ニ向ケ「クエジエ リ」ニ發同十九日吳着待機 富士丸八月二十五日「クエジエリン」ニ編入セラル				ナン着 29二十九日、29八日夫々、ナン發印度 洋方面ニ於テ作戦ニ従事 日枝丸八月一日横濱船渠ニ入渠五日出渠七 日横須賀ニ回航 横須賀ニ於テ母艦任務ニ 従事	



事	隊
記	部
	長
	官
	各特務艦長 (監督官)
	富士丸 日章丸
	浦上丸 第二號 天洋丸
	發
	浦上丸八月九日「クエジエリンヨリ」トラックニ出航 八月十三日「トラック」着「トラック」ニ於テ工作仕 務ニ従事
	日章丸八月十五日徳山發「トラック」ニ進出 翌八月廿四日「トラック」ニ於テ補給任務ニ従 事ノ上同二十九日補給ノ爲吳ニ向ケ「トラック」
<p>一伊三。潜一時主力部隊ニ編入中</p> <p>一第二號天洋丸翌廿四日暗間横鎮輸送任務ニ協力中</p> <p>一翌八月廿七日SS外南洋部隊ニ編入セラル</p> <p>一翌八月廿九日伊六ヲ一時北方部隊ニ編入セラル</p> <p>一八月二十日2SSB 解隊 7sg (11 12 13 14 15 16) 17 及 18 6F 附屬</p> <p>7sg 17 18 ヲ以テ 2SSB ヲ編成 指揮官ヲ 7sg 司令トス</p> <p>一八月二十五日富士丸GFニ編入セラル</p>	

(六) 2SS 解隊	ISS	直率	戰隊	(口) 編制	一八月二十日 一八月三十一日
(八) 2SS 鎮部隊	平安丸	奪取	軍艦		
7sg	2sg		隊名	潛	7SS EB 指揮官 17 7sg = 編入
イ イ イ	イ イ イ		艦名		
三 二 一	九 七 五		隊名	水	指揮下ニ入ル
(八) 8sg 解隊	(八) 4sg 解隊		艦名		
イ イ イ	イ イ		隊名	艦	
六 五 四	二 二 六 五		艦名		
	15sg		隊名		
イ (八) 7sg 編入	イ イ イ		艦名		
八	三 三 三 三 二 一		艦名		
			隊名		
	イ		艦名		
	九		名		

屬		附			8SS	3SS	
第十馬具班	第三軍用郵便所	准 下兵一〇六 三 108	第六補欠班	給兵 新玉丸	給油 富士丸	日枝丸	靖國丸
			第一補充班	第二補充班	第三補充班		
		准 下兵一七 〇 17	第一補充班			1sg	11sg
		准 下兵一九 二 21	第二補充班			イ イ イ	イ イ イ
		准 下兵三〇 三 32	第三補充班			二 一 一	一 一 一
		准 下兵二五 〇 25	第四補充班			〇 八 六	七 七 七
		准 下兵一 一 13	第五補充班			3sg	12sg
						イ イ イ	イ イ イ
						二 二 二	一 一 一
						四 二 一	七 七 六
						14sg	
						イ イ イ	イ
						三 二 二	一
						〇 九 七	一
						イ	
						一	
						〇	

一八月四日 1176 11sg =編入	屬			附		7SS	戰隊 軍艦	(EB指揮官ノ指揮下ニ在ル部隊)	第七報道班
	工作	給糧	給油	報國丸	愛國丸				
	浦上丸	天洋丸	日章丸			13sg	艦名		
					一	一	一	艦名	
					二	二	二		艦名
					三	二	一	艦名	
					21sg				艦名
					口	口		艦名	
					三	三			艦名
					四	三		艦名	
					GF 附屬				備
					↓			考	
					EB 附屬				
					8F 附屬				
					↓				
					EB 附屬				

(三) 作戦指導

ソロモン方面作戦  
八月七日ソロモン方面ニ敵機動部隊上陸ヲ開始セル

事	記
一 自八月二十日 7SS 7SS 指揮官ノ指揮下ニ入ル	一 八月十日 2sg = 125 126 替ヲ加ヘ 4sg 解隊
二 八月三十一日 伊七ヲ 7sg = 編入セラル	二 八月二十日 2SS 解隊 (2SS 司令官ニ。日 退任將校ヲ撤ス
三 7SSノ 編制	一 さんとす丸 呉鎮部隊ニ 編入
迅鯨	二 8sg 解隊 14 15 16 ヲ 7sg = 編入
13sg (1121 1122 1123)	三 7sg 17 及 18 6F 附屬
21sg (033 034)	一 八月二十五日 富士山丸 6F = 編入セラル

ヲ以テ濠洲方面作戦中ノSSSB (-132)ニ對シ「ツラギ」方面ニ急行敵攻撃ヲ命ズ

七日SSSハ外南洋部隊ニ編入セラレ九日以降VSS司令官ノ統一指揮下ニ入ル

(2) 印度洋方面へ進出準備中ナリシISSB (-132)ハ準備完了ヲ俟ツテ十五日横須賀(15Ssg (-132))發本邦東方海面ヲ掃航シ「ソロモン」方面ニ急行

(3) 3Ssg (-122, -124)ハ二十一日横須賀發「ソロモン」方面ニ急行香取平安丸ハ十八日横須賀發「トラック」ニ進出ス。

(4) 二十日午前敵機動部隊「ツラギ」南東約ニ五〇哩ニ出現 ISSBヲ速ニA散開線(地桌コア)ヨリ地桌ケレマ〇〇)ニ就カシム

(5) 二十一日一五五〇EB指揮官ハISS 3SS 7SSヲ統一指揮スル

コトトナリ各隊左ノ如ク行動セシム(各艦概ネ二十三日乃  
至二十五日所定配備點着)

(i) ISS A 散開線ニ待敵

(ii) 3SS 準備出来次第 B 散開線(地點ケホヨヨリ地點

ケヒヨヨ)ニ待敵

(iii) 7SS 13sg ハ地點ケルヤヨケレメヨケリヨヨニ待敵

21sg ハ準備出来次第急速「ソロモン」南東海面ニ進

出 但シ司令官所定ノ一艦ハ「ポートモレスビー」監

視

(e) 二十三日一ニ〇〇 7SSB ヲ「ガダルカナル」方面敵増援並ニ退

路遮断ノ爲「インゲスペンサブル」海峡及「ガダルカナル

西方水路ニ配シ 1SSB ノ配備ヲ C 散開線(地點ケ

ソメヨヨリ地點ケラリヨ)ニ改メ更ニ同日 1SSB ハ二十四日

黎明迄ニD散開線(地點ケンラ00ヨリ地點ケララ00)  
ニ就キ待敵哨式スベク發令ス

(7) 二十四日味方航空部隊敵KdBヲ攻撃セル情況ニ於テ

ISSBヲ急速E散開線(地點コアホ00ヨリ地點ケレヤ00)ニ

3SSBヲ急速F散開線(地點ケルヨ00ヨリ地點ケヨヨ00)ニ就

カシメ損傷敵空母ノ退路ヲ遮断並ニ爾後ノ敵KdBノ

出現ニ備フ

115 117ノ敵發見ノ報ニ依リISSBハ直ニ追躡ニ轉ズ

(8) 二十五日一七二。敵KdB追躡中ノ潜水部隊ニ對シ本日

日没ニ至ルモ敵情ヲ得ザル場合ハ追躡ヲ止メ左

ノ配備ニ就ク如ク發令ス

ISSB E<sub>2</sub>散開線(地點ケンム00ヨリ地點ケルヲ00)

3SSB F<sub>2</sub>散開線(地點ケラリ00ヨリ地點ケヤリ00)



尚 7SSB ハ指揮官所定ニ依リ同夜泊地ニ進入敵在泊  
艦攻撃ヲ實施セシム  
034 ハ湾内ニ進入搜索セシモ  
敵艦艇ヲ認メズ

(9) 二十六日 昨日ノ追躡行動中ニ於ケル被爆雷攻撃ニ  
因ル損傷ノ爲戰場ヨリ避退スルニ付 3SS 司令官ヲシ  
テ 1SSB (現地作戦部隊)ヲ併セ指揮セシム

(10) 二十六日 二三 〇 〇 二十五日 二四 〇 敵損傷空母 (CX2 dx6)ヲ伴フ  
「シヨートランド」島ノ一〇度五一四 涅針路一四〇度  
推定速力五節トノ情報ニ依リ 2Sg (115 117 125 次)ニ對  
シ、又デニ「島」(126)「バニコロ」島(119)及其ノ南方海面ヲ  
搜索(極力搭載機使用)之ガ捕捉撃滅ヲ命ジタルモ  
發見スルニ至ラス  
之ヨリ先 13Sg ラシテ一艦(121)ハ同様任務(ステートト)

- 島、南東方五〇哩附近ニ大破炎上漂流ノ疑アル敵空母搜索處分一二十六日〇一五五發令ニ從事セシメタルモ之亦敵ヲ發見セズ 二十七日一四五五同任務ヲ解ク
- (11) 二十七日〇八三〇「ガダルカナル」方面敵ノ増援阻止補給路遮断ヲ強化スル爲 11sg (1175 1176 欠) ヲ亦二十八日一五〇一 112 ヲ 3SS 司令官ノ指揮下ニ入レ同方面ニ配ス (112 ハ三十日「トラック」發)
- (12) 二十八日二一二〇 3sg (122 124 欠) ヲ 3SS 司令官ノ指揮下ニ入レ E<sub>2</sub> 散開線 (地點ケラム 38) ニ就カシム
- (13) 二十九日〇七二五 GF 電令ニ依リ 2sg (115 117 125 欠) ノ敵損傷空母搜索中止 E<sub>2</sub> 散開線ニ復飯ヲ命ズ
- (14) 三十日一二二〇「ガダルカナル」方面潜水艦ハ緊縮配備





三十一日	三十日	二十九日	二十八日	二十七日	二十六日						
〇一 二〇	〇〇 四〇	〇七 一五	〇六 〇〇	〇二 三〇	二一 〇〇	二三 三四	一四 〇〇	二二 四五	二二 二〇	一八 〇〇	一四 〇〇
121	126	133	1121	1121	115	034	119	115	126	126	119
ケ ワ ム 48	ケ ワ モ 13	ケ レ ヨ 21	ケ ル ミ 15	ケ ル マ 15	ケ ロ ヤ 28	ケ ホ ホ 11	ケ ロ モ 49	ケ ロ ワ 34	ケ ヲ ワ 33	ケ ロ レ 44	コ イ モ 43
敵 KdB (AX1 BX1 CX2 d 多隻)	敵 KdB (AX1 BX1 C d 数隻)	敵 KdB (AX1 C d 数隻)	敵 KdB (AX1 CX2 dx4)	敵 KdB (AX1 C d 多数)	敵 KdB	敵 落水艦ノ 艦影	敵 BX1 AX1 C 数隻 d 多数	敵 AX1 BX1 CX2 dx6 TX2	敵 AX1 BX2 CX3 d 数隻	敵 AX1 CX1	敵 CX1 dx1
發 見	見 失 フ	見 失 フ	〃	發 見	見 失 フ	雷警爆發音 ヲシキモノニ 聴取セルモ効 果不明	〃	〃	〃	〃	發 見

(19)

被害

備考	二〇〇
	1174
見失へり	敵飛行機及警戒艦艇ニ制圧セヨレ概ネ之ヲ
	敵TXI dx1
	發見

19 敵爆雷ニヨリ潜望鏡 水防眼鏡 全部使用不能ト

ラックニ田航修理セシム

131 製作不良ニ基ク「ベント」弁(大部分)ノ油圧開閉不

能トラックニ田航修理セシム

117 敵機ノ爆撃銃撃及哨戒艇ノ爆雷攻撃ニヨリ右

「メインタンク」四個破孔ヲ生ジ戦闘航海ニ支障ヲ

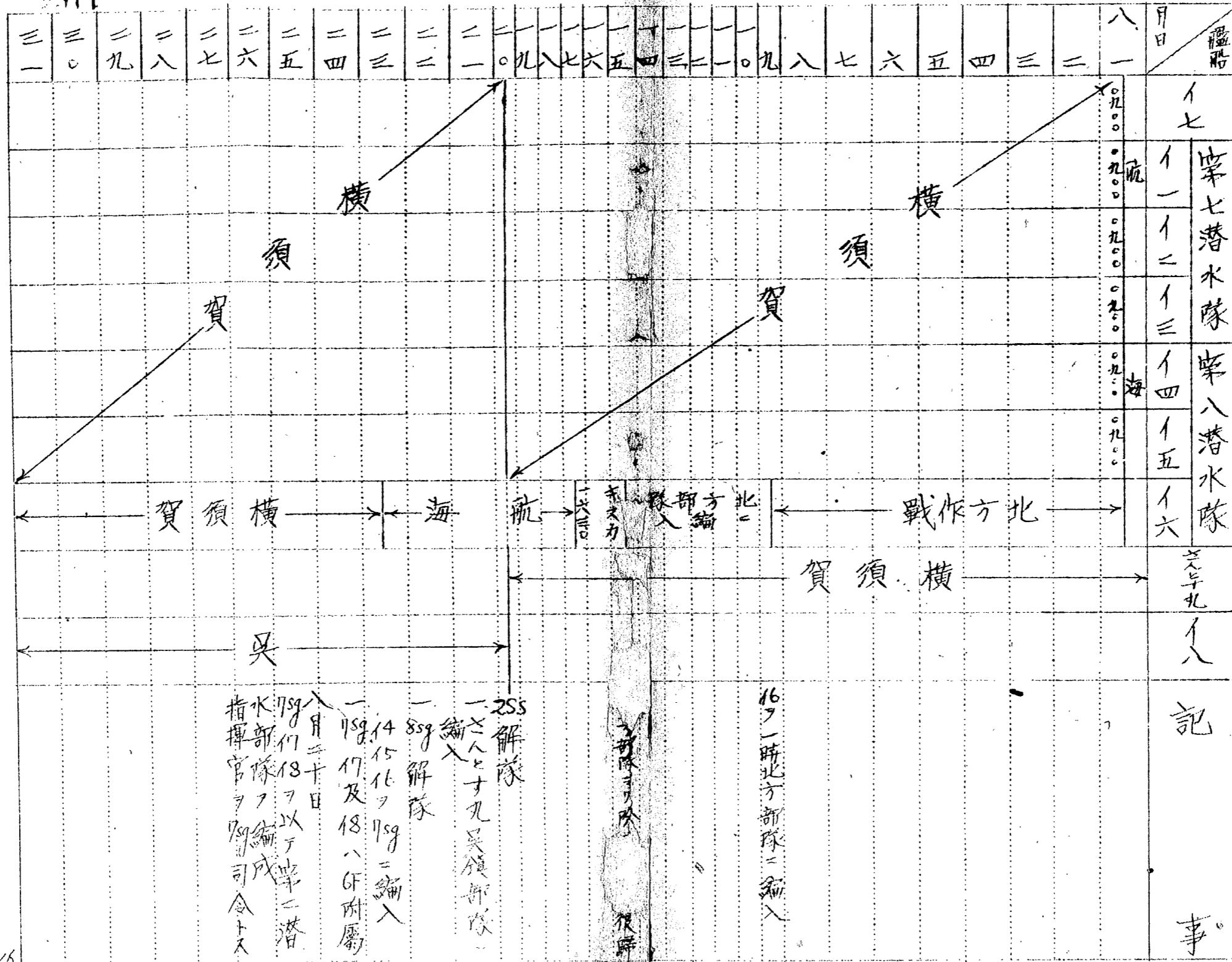
生ズ

(後刻應急修理ニ依リ 戦場残留可能トナル)









一、麾下艦船行動 (第二潜水部隊)

艦船  
イ七  
第七潜水隊  
第八潜水隊  
記  
事

2SS 解散  
一、八と十九 吳領部隊  
一、SS 解散  
一、14 15 16 17 18 19 20 編入  
一、17 18 19 20 編入  
八月二十日  
17 18 19 20 編入  
指揮官ヲ編成  
司令トス

16 17 18 北の方部隊ニ編入

日	月	艦名	行動
一	八	イニ	戦作面方ンモロソ
二	八	イニ	戦作面方ンモロソ
三	八	イニ	戦作面方ンモロソ
四	八	イニ	戦作面方ンモロソ
五	八	イニ	戦作面方ンモロソ
六	八	イニ	戦作面方ンモロソ
七	八	イニ	戦作面方ンモロソ
八	八	イニ	戦作面方ンモロソ
九	八	イニ	戦作面方ンモロソ
一〇	八	イニ	戦作面方ンモロソ
一一	八	イニ	戦作面方ンモロソ
一二	八	イニ	戦作面方ンモロソ
一三	八	イニ	戦作面方ンモロソ
一四	八	イニ	戦作面方ンモロソ
一五	八	イニ	戦作面方ンモロソ
一六	八	イニ	戦作面方ンモロソ
一七	八	イニ	戦作面方ンモロソ
一八	八	イニ	戦作面方ンモロソ
一九	八	イニ	戦作面方ンモロソ
二〇	八	イニ	戦作面方ンモロソ
二一	八	イニ	戦作面方ンモロソ
二二	八	イニ	戦作面方ンモロソ
二三	八	イニ	戦作面方ンモロソ
二四	八	イニ	戦作面方ンモロソ
二五	八	イニ	戦作面方ンモロソ
二六	八	イニ	戦作面方ンモロソ
二七	八	イニ	戦作面方ンモロソ
二八	八	イニ	戦作面方ンモロソ
二九	八	イニ	戦作面方ンモロソ
三〇	八	イニ	戦作面方ンモロソ
三一	八	イニ	戦作面方ンモロソ
三二	八	イニ	戦作面方ンモロソ
三三	八	イニ	戦作面方ンモロソ
三四	八	イニ	戦作面方ンモロソ
三五	八	イニ	戦作面方ンモロソ
三六	八	イニ	戦作面方ンモロソ
三七	八	イニ	戦作面方ンモロソ
三八	八	イニ	戦作面方ンモロソ
三九	八	イニ	戦作面方ンモロソ
四〇	八	イニ	戦作面方ンモロソ
四一	八	イニ	戦作面方ンモロソ
四二	八	イニ	戦作面方ンモロソ
四三	八	イニ	戦作面方ンモロソ
四四	八	イニ	戦作面方ンモロソ
四五	八	イニ	戦作面方ンモロソ
四六	八	イニ	戦作面方ンモロソ
四七	八	イニ	戦作面方ンモロソ
四八	八	イニ	戦作面方ンモロソ
四九	八	イニ	戦作面方ンモロソ
五〇	八	イニ	戦作面方ンモロソ
五一	八	イニ	戦作面方ンモロソ
五二	八	イニ	戦作面方ンモロソ
五三	八	イニ	戦作面方ンモロソ
五四	八	イニ	戦作面方ンモロソ
五五	八	イニ	戦作面方ンモロソ
五六	八	イニ	戦作面方ンモロソ
五七	八	イニ	戦作面方ンモロソ
五八	八	イニ	戦作面方ンモロソ
五九	八	イニ	戦作面方ンモロソ
六〇	八	イニ	戦作面方ンモロソ
六一	八	イニ	戦作面方ンモロソ
六二	八	イニ	戦作面方ンモロソ
六三	八	イニ	戦作面方ンモロソ
六四	八	イニ	戦作面方ンモロソ
六五	八	イニ	戦作面方ンモロソ
六六	八	イニ	戦作面方ンモロソ
六七	八	イニ	戦作面方ンモロソ
六八	八	イニ	戦作面方ンモロソ
六九	八	イニ	戦作面方ンモロソ
七〇	八	イニ	戦作面方ンモロソ
七一	八	イニ	戦作面方ンモロソ
七二	八	イニ	戦作面方ンモロソ
七三	八	イニ	戦作面方ンモロソ
七四	八	イニ	戦作面方ンモロソ
七五	八	イニ	戦作面方ンモロソ
七六	八	イニ	戦作面方ンモロソ
七七	八	イニ	戦作面方ンモロソ
七八	八	イニ	戦作面方ンモロソ
七九	八	イニ	戦作面方ンモロソ
八〇	八	イニ	戦作面方ンモロソ
八一	八	イニ	戦作面方ンモロソ
八二	八	イニ	戦作面方ンモロソ
八三	八	イニ	戦作面方ンモロソ
八四	八	イニ	戦作面方ンモロソ
八五	八	イニ	戦作面方ンモロソ
八六	八	イニ	戦作面方ンモロソ
八七	八	イニ	戦作面方ンモロソ
八八	八	イニ	戦作面方ンモロソ
八九	八	イニ	戦作面方ンモロソ
九〇	八	イニ	戦作面方ンモロソ
九一	八	イニ	戦作面方ンモロソ
九二	八	イニ	戦作面方ンモロソ
九三	八	イニ	戦作面方ンモロソ
九四	八	イニ	戦作面方ンモロソ
九五	八	イニ	戦作面方ンモロソ
九六	八	イニ	戦作面方ンモロソ
九七	八	イニ	戦作面方ンモロソ
九八	八	イニ	戦作面方ンモロソ
九九	八	イニ	戦作面方ンモロソ
一〇〇	八	イニ	戦作面方ンモロソ

(一) 麾下艦船ノ行動 (第三潜水部隊)

指揮官 指揮隊部 洋南外 (戦海ンモロソ) ノ承ヲ

(備整理修) 保世佐

(備整理修) 吳

外南洋部隊ニ編入ヲ解ク

GF 電ハ作一九六號 355ヲ外南洋部隊ニ編入

會田 116ヲ115gニ編入

靖國丸 記

事

月日	八	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一			
イ	シ	ナ	ハ																															
イ	六	イ	ハ																															
イ	ニ	〇	イ																															
イ	ニ	二	イ																															
イ	ニ	四	イ																															
イ	ニ	七	イ																															
イ	ニ	九	イ																															
イ	ニ	一	イ																															
イ	ニ	三	イ																															
イ	ニ	五	イ																															
イ	ニ	六	イ																															
イ	ニ	七	イ																															
イ	ニ	八	イ																															
イ	ニ	九	イ																															
イ	ニ	一〇	イ																															
イ	ニ	一一	イ																															
イ	ニ	一二	イ																															
イ	ニ	一三	イ																															
イ	ニ	一四	イ																															
イ	ニ	一五	イ																															
イ	ニ	一六	イ																															
イ	ニ	一七	イ																															
イ	ニ	一八	イ																															
イ	ニ	一九	イ																															
イ	ニ	二〇	イ																															
イ	ニ	二一	イ																															
イ	ニ	二二	イ																															
イ	ニ	二三	イ																															
イ	ニ	二四	イ																															
イ	ニ	二五	イ																															
イ	ニ	二六	イ																															
イ	ニ	二七	イ																															
イ	ニ	二八	イ																															
イ	ニ	二九	イ																															
イ	ニ	三〇	イ																															
イ	ニ	三一	イ																															

(一) 麾下艦船ノ行動 (第八潜水部隊)

長  
記  
事





第六艦隊機密第二三號ノ七三  
昭和十七年九月十日

第六艦隊戦闘詳報  
ソロモン群島方面ニ於ケル  
其ノ一

第九號  
自昭和十七年六月二十五日  
至昭和十七年九月七日  
作戦

第六艦隊司令部



一形勢

(一) 敵軍一般情勢

我カ北方作戰ハ敵ノ虛ヲ衝キ成功米ニ多大ノ脅威ヲ與ヘタルモ概ネ豫定地點ヲ占領停止スルヤ敵ハ逐次アリエシヤン諸島ノ防備ヲ固ムルト同時ニ對濠物資兵器輸送及南方諸島ノ防備強化ニ狂奔シツアルモノ如シ

(二) 敵空軍情勢

北方ニ於テハ天候ノ障害及空軍基地ノ不備ニ基キ敵機ノ活動敏活ナラス又濠洲北部ヨリスル敵空軍ノ南方我カ基地攻撃手ハ左程大ナラサルモ天候ノ恢復並米濠

先遣部隊戰鬥詳報 第九號

第一自八月六日先遣部隊ノ作戰

、軍備充實ニ伴ヒ其ノ活動ハ漸次活潑化スルモノト判断セラル

三本作戰ニ關係アル内外諸情勢  
聯合艦隊ノ大部ハ本土ニ於テ南方進撃準備ヲ整ヘ且ツソロ  
モン諸島ニ於ケル航空基地着々整備中ナリ

二計 畫

EBノ一部潜水艦ヲ以テ北方部隊(一時編入)ニ協力又一部  
潜水艦及報國丸愛國丸ヲ以テ印度洋西部ノ交通破壊  
戰ニ部ニテ濠洲東岸ノ交通破壊戰ニ從事大部ハ本土  
又ハ前進基地ニ整備次期作戰ニ備フ

三經過

(一)指揮官ノ作戰指道サ及行動  
旗艦香取ハラケエリンニ在リテ麾下各部隊ノ指揮ニ任ス  
作戰打合セノ爲八月一日ラケエリンニ發八日横須賀入港同

十八日出撃隊TPニ向フ  
 (二)麾下及友軍ノ行動概要  
 (畧)

(三)敵軍ノ状況

(イ)濠洲東岸ニ於ケル交通破壊戦開始四日後敵ハ船團航  
 行ニ移リ又敵ハ飛行機ヲ同海面ニ在ホ中對潛敬言戒ヲ嚴  
 ニセリ而シテ敵ハ月明ハ勿論晴天ノ闇夜ニ於テモ飛行機  
 索攻撃ヲ行フ伊十一潛ノ如キハ月明及闇夜各一回敵機  
 ノ爆撃ヲ受ク但被害ナシ

(ロ)シドニー湾口附近ハ艦船出入時敵機ノ哨戒嚴重又濠  
 洲沿岸ヲ又メヤノ灯台ハ海圖記載通照燈シアリ七月二十日  
 シドニー湾口北方及フポートケンブラハ探照燈ヲ以テ哨戒セリ  
 (ハ)敵ノ輸送船團



<p>川</p>	<p>潜艦名 作戦分擔區域</p> <p>シドニー湾口灯台ヲ通ズル 百〇度線以南バス海峡迄 二二五日以降ハ南緯三五度以南</p>	<p>現地作戦期間</p> <p>七月二十日シドニー沖着 八月一日バス海峡東端 發(約十三日間)</p>
----------	--	--

右各艦ハSSSB指揮官所定ノ配備ニアリテ交通破壊戦ニ  
従事ス概況左ノ通

二歸着ス(本行動中八月四日二一〇。濠洲南岸ニテTxlヲ攻  
撃(撃沈セス)セル以外特記事項ナシ)

(二)SSSB(欠1168 1172)各艦ハ左記ニヨリ作戦地ニ出撃ス

1175 八月八日 PQ 出撃 濠洲東岸ニ向フ

1174 八月九日 PQ 出撃 「ホートモレスビー」方面ニ向フ

1171 (1169) 八月八日(九日) PQ 出撃 「フェイス」サモア 「ニューカレドニア」  
方面ニ向フ

1-169

132	1171 <sup>B</sup> (125g)	1171 <sup>B</sup> (125g)	1174 <sup>B</sup> (115g)	1175
ニユーカレドニア島又マヤ方面	ニユーカレドニア方面 (又メヤ沖セント湾沖)	ニサモア諸島	ニ八月五日以降濠洲東岸一岬 ニ八月一日以降シドニー湾口灯 台ヲ通ズル百度線以北	シドニー湾口灯台ヲ通ズル 百十度線以北ノ濠洲東岸 ニ二五日以降ハ南緯三五度以北
自七月三日至二五日(約三日間)	自八月四日至五日(約二日間)	自七月九日至八月一日(約四日間)	七月二十四日ラホール發シドニ 一沖進出 八月七日シドニ沖發(約十日間)	七月二十日シドニ沖着八月 五日シヤービス湾南方哨區ヲ 撤シ北上ス(約十七日間)
ニユーヘブライズ諸島ホトビラ	ニユーヘブライズ諸島ホトビラ	ニフイジ諸島		
自七月九日至二五日(約九日間)	自七月三日至八日(約六日間)	自七月一六日至七月二四(約八日間)		
七月九日偵察				

4

(四) 特ニナシ  
 作戦ニ影響セル事項  
 動ヲ實施ス

隊形ニ列横陣距離前後左右共約ニ料直衛驅逐艦ハ  
 晝間斜前夜間正横附近輕巡ハ商船ノ前方約ニ料横陣  
 速力編隊速力約九節  
 輕巡及驅逐艦ハ晝夜共約十四節ニテ大角度ノ文字運

(五) 經過概要

(1) 六月二十五日。。。作戦行動中、各潜水艦概況

2SSB	7SSB
(17 7Sg (11 12 13) 8Sg (14 15 16))	(19 2Sg (115 117 119))
	(4Sg (125 126))
	「シャトル」監視中
	AL作戦ニ從事中
	北方作戦参加ノ為ニ一日一四。。。

横須賀出發中航行中

備考  
8SSB (110 1Sg (416 118 120)) (欠 3Sg 14Sg) ; 印度洋方面ニ行動中

一愛國丸報國丸ハ8SS司令官指揮下ニ印度洋ニ作戰中  
ニ北方及印度洋ニ作戰セル部隊ノ戦闘詳報ハ各部隊指揮官ノ報告ニヨリ之ヲ省略ス

(四) 1SSB (欠 15Sg) ハ七月一日北方作戰地發七月十一日横須賀ニ歸投(修理整備後八月十五日出撃)

2SSB ハ七月二十日迄北方作戰ニ従事爾後哨戒任務ニ服シ、八月一日横須賀ニ歸投修理ニ従事ス(八月二十日 2SS

8Sg 解隊 7Sg (11 12 13 14 15 16) 17 48ヲ6F 附属トシ之ヲ以テ第二潜水部隊ヲ編制(指揮官 7Sg 司令)

(ハ) 132 六月三十日 PQ 發濠洲方面ニ作戰七月二十五日本作戰海面ヲ離レ濠洲南岸及西岸ヲ索敵八月二十八日ハナン

四 令達 報告等  
五 戰 果 (別紙)

三 濠洲南岸及西岸

自七月二十五日至八月五日(約二日間)

1175		111					艦名
攻撃日時	場	所	目	標	攻撃要領	効果	
七一三〇四四	ク		三〇〇噸級油槽船	三〇〇噸級貨物船	水上雷撃 命中一	ク	
七一四〇六六	ク		六〇〇噸級商船	三〇〇噸級貨物船	水上雷撃 命中一	ク	
七一三〇四五	濠洲東岸		八〇〇噸級商船	三〇〇噸級貨物船	水上雷撃 命中一	ク	
七一三〇五〇	エバラスト灯台		九〇〇噸級商船	三〇〇噸級貨物船	水上雷撃 命中一	ク	
七一三〇三六	ツノオール		八〇〇噸級貨物船	三〇〇噸級貨物船	水上雷撃 命中一	ク	
七一三〇四五	灯台		三〇〇噸級商船	三〇〇噸級貨物船	水上雷撃 命中二	ク	
七一三〇四	全	右	三〇〇噸級貨物船	三〇〇噸級貨物船	水上雷撃 命中一	ク	
七一〇三〇一	湾	湾	一〇〇〇噸級貨物船	三〇〇噸級貨物船	水上雷撃 命中一	ク	

六功績

八日近々十日間ニ敵商船五隻計約五萬二千噸ハ亦十日間ニ敵商船四隻計約三萬三千噸ヲ數手沈セル功績ハ特ニ顯著ナリ

第二至八月七日先遣部隊(印度洋方面ヲ除ク)ノ作戰

一形勢

(一)敵軍一般情勢及敵空軍ノ情勢

通信謀報其ノ他ニヨレバ七月下旬以來

濠洲東岸ニ於テ英艦艇船舶ノ移動顯著トナリ

總合戰果	1169	八一三	濠洲東岸	六〇〇噸級商船	砲雷擊發射雷數一 命中一發用砲彈八命中二	數手沈
	七三	又×中沖		五〇〇噸級商船		
數手沈十隻		約十萬噸		潛航雷數發射 雷數七命中二	ク	

(ロ) 米ハ新西蘭「ニエトカレドニヤ」  
「フィジー」  
「サモア」方面ニ續々海空陸  
兵カヲ集中シアルモノノ如ク

(ハ) 敵潜水艦「マーシャル」  
「カロリン」  
郡島方面ニ出没跳梁ス  
之等ノ諸情況ヨリ敵ハ近ク「ビスマル」  
「ソロモン」  
郡島方面ニ  
對シ何等カノ積極的企圖ヲ有スルモノノ如ク判断セラレタリ

(ニ) 本作戦ニ關係アル内外諸情勢カ  
各占領地域ノ治安復興工作ハ進捗アリ  
「ニューギニア」  
及外南洋  
方面ノ占領地域ノ防備ハ漸次強化セラレツ  
「アリ」  
東西南南三  
方面ノ最前線ニ於テハ緩徐ナルモ間断ナク航空戦行ハレ  
ル程度ナリ

(四) GFハ主作戦ヲ一時敵海上交通線破壊ニ指向スルニ決シ  
EB潜水艦ノ一部ヲ以テ濠洲東岸ニ爾余ノ全潜水艦ヲ印度  
洋西部ニ巡洋艦戦隊ヲ「ベンガル」  
湾ニ進ムベク着々準備

中ナリ

(川)然カル所果英聯合艦隊ハ大擧天候不良ト我カ警戒  
 手薄ニ乘シ八月七日未明突如ソロモン郡島我カ占領地タル  
 ツライ及「ガタルカナル」飛行場ニ来襲上陸作戦ヲ決行之ヲ奪  
 取セリ(敵ハ右作戦ト關聯一部隊ヲシテ「キスカ」及本邦東  
 海ニ機動セシメタリ)聯合艦隊ハ其ノ主力ヲTP方面ニ集中  
 カ島奪回且ツ好機ニ乘シ敵艦隊ヲ捕捉撃滅スヘク作戦  
 スEBハ可及的速ニ全潜水艦ヲ「ソロモン」郡島方面ニ集中敵  
 艦艇及増援部隊ノ捕捉攻撃ニ努メ聯合艦隊ノ作戦目  
 的達成ニ全カヲ盡セリ

ニ計 畫

本作戦ニ關係セル第六艦隊編制(八月七日現在)

旗	艦	SS名	潜水隊(艦)	母	力	艦	記	事
---	---	-----	--------	---	---	---	---	---



<p>八月十八日 横須賀着 八月十八日 出撃 八月十四日 TP着</p>	<p>香取</p>	
	<p>2SS</p>	<p>1SS</p>
	<p>17P</p>	<p>19P</p>
	<p>8Sg 7Sg (14 15 16) (11 12 13)</p>	<p>15Sg 4Sg 2Sg (131 132 133) (125 126) (115 117 119)</p>
	<p>サントス丸</p>	<p>平安丸 八月十八日 横須賀着 TP二向フ</p>
<p>168佐世保ヲ修理中似八月二十日修理完成吳ヲ出撃南下ス</p>	<p>7Sg司令 以テ第一潜水部隊ヲ編制(指揮官) 三Sg(11 12 13 14 15) 17 18ヲ6F附属トシ之ヲ SSBニ編入(八月二十日吳着) 八月二十日 2SS 8Sg 解隊 サントス丸 吳鎮 復歸八月二十日横須賀着整備 八月十五日北方部隊編入ヲ解キ原隊 一2SS(16欠)八月一日横須賀着整備16</p>	<p>19 2Sg 4Sg 15Sg(欠132)八月十五日横須賀 及吳發南下ス</p>

(三) 本作戰ニ到ル経緯  
 八月七日〇四三〇 AXI CX4 外ニ艦船約二〇隻又ヨリナル敵攻畧部隊ヲソロモン郡島南西海面ノ悪天候ヲ利用突如ツラギ

<p>記事</p> <p>一 8SS 中 3SSg ハソロモン方面ニ作戰セシム</p> <p>二 3SSg 中 121 八月二十一日 横須賀出撃南下ス</p> <p>三 7SS (121 122 123) 218g (037 034) 八月二十日 EB 指揮官、指揮下ニ入ル</p> <p>三 附属艦船ノ行動</p> <p>浦上丸 …… 八月九日「クダエリン」發全十三日 TP 着</p> <p>隱戸 …… 八月九日「クダエリン」發全十三日 TP 着</p> <p>日章丸 …… 八月十日 吳發全二十一日 TP 着</p>	3SS		
	111P		
	12SSg (1168 1169 1171 1172)	11SSg (1174 1175 1176)	
	靖國丸	八月七日 3SS 外南洋部隊ニ編入 (GF 電)	

## 三、經過

(一) 指揮官、作戰指導及其行動

八月七日敵出現ノ報ニ接スルヤ直ニ濠洲東岸及「エーカレド」ニヤ方面SSBヲ急速北上SSBニ協力「ツラギ」沖敵艦船攻撃ニ力メシムト共ニ内地ニ於テ整備中ISSノ修理ヲ急カシメ急速南下作戰地ニ向ハシム

旗艦香取八月八日横須賀ニ入港スルヤ直ニ所要ノ向ト連絡作戰ノ打ち合ヲ行ヒ全十八日出撃手全ニ四日TP着爾後TPニ在リテ麾下SSB(八月二十日以後SSBヲ指揮ス)ヲ

沖ニ出現「ツラギ」及「カ」島飛行場ヲ奪取セリ

聯合艦隊ハ差シ當リ外南洋部隊ヲ以テ敵攻略部隊ノ撃退ヲ計ルト共ニ航空兵力潜水艦及水上輕快艦艇ノ大部ヲ各方面ニ集中「カ」島奪回敵艦艇ノ捕捉撃滅ヲ企圖ス

(甲) 麾下友軍ノ行動概要  
 指揮友軍ト協力主トシテ、ガレ島南西海面ニ散開線ヲ講成、敵増援部隊ノ捕捉撃滅ニ任ス

(略)

(三) 敵軍ノ實況

(1) A×1 B×1 C×1<sup>3</sup> 敵部隊ハ主トシテ、サンクリユバル島南東海面ヲ行動、小型機ヲガレ島飛行場空輸及、ガレ島ノ守備ナル迄、其上空警戒戒並ニ我カ艦艇ノツラギ泊地侵入ニ備ヘタルモノノ如シ、而シテ敵ハ同海面ニ我ガ潜水艦ノ大部集中サレタルヲ探知セル為カ、其對潛警戒ハ極メテ嚴重行動亦比較的巧妙ナリ之ガ為本期間我カ潜水艦屢々敵ヲ發見セルニ拘ハラズ、予期、如ク襲撃ノ機會ニ恵マレズ  
 (ロ) 我カ散開線上ニ出現セル敵機ハ艦上機及飛行艇ナル事





(四) 作戦ニ影響百セシテノ項  
 特ニナシ

(五) 經過概要  
 (1) 自八二七ISSB  
 至八二七ISSB  
 二十日午前BXRノ南東約二五〇哩ニ敵Ax2 Cx5 dx11出現敵ハ

備考	八月三十日						
	九月一日	九月二日	九月三日	九月四日	九月五日	九月六日	九月七日
敵飛行機及敵警戒艦艇ニ制圧セラレ概ネ之ヲ見失ヘリ	〇九一〇	〇四三〇	一一〇〇	〇四四六	〇二〇五	〇一三〇	〇〇四〇
	111	133	1174	126	111	121	126
	ケラル48	ケレヤ36	ケメホ15	ケワム36	ケモモ35	ケワム48	ケワム13
	敵Ax1 (エニスター型類似) Cx2 dx2 数隻	敵Bラシキ楢	敵Tx1 dx1	敵Ax1 (サラトガ型類似) 其他	敵Tx1 (二五〇〇砲) dx1	敵Ax1 Bx1 Cx2 dx2 多数	敵Ax1 Bx1 C dx2 数隻
	A 龍衣敵ヲ魚雷ニ命中		龍衣敵ヲ得ズ	A 龍衣敵ヲ魚雷ニ命中	敵沈概不確實		龍衣敵ヲ得ズ

IXPニ飛行機ヲ移動シツツアリトノ情報ニ接シISSヲ速ニ  
 A散開線(地點コアノ001地點ケレマ00間)ニ待敵セシム  
 (1)二十日一五五。EB指揮官3SS7SSヲ統一指揮スルコトナ  
 リ各隊左ノ如ク行動セシム(各艦概ネ二十三日乃至二十  
 五日所定配備點着)  
 (一)ISS A散開線ニ待敵(散開順序東ヨリ126 119 117 115 131 133  
 19ノ順)  
 (二)3SS準備出末次第出撃手B散開線(地ケホヨ001地點ケレ  
 ヲ00間)ニ待敵(散開順序東ヨリ114 115 111ノ順)ニ三日。八三。  
 發令)  
 (三)7SS(欠21Sg)ハ地點ケルヤ00ケレ又00ケリヨ00ニ待敵  
 21Sgハ準備出末次第急速Rx南方海面ニ進出但司令  
 官所定ノ一艦ハRPP監視



(二)二十三日一ニ〇〇 7SSヲRxi方面敵増援並退路遮断ノ

為インデスパンサブル海峽及Rxi西方水路ニ配シISSBヲC散

開線(地點ケツメ〇〇|地點ケラリ〇〇間)ニ移動更ニ同日ISSBハ

二十四日黎明迄ニD散開線(地點ケンラ〇〇|地點ケララ〇〇)

ニ就キ待敵スベクヲ發令ス

散開線移動中119估ハ敵艦上機飛行艇發見119ハ

敵飛行艇ノ攻撃ヲ受ケタルモ被害ナシ

(ホ)二十四日敵情判明セルニ付

ISSBヲ急速E散開線(地點コアホ〇〇ヨリ地點ケレヤ〇〇)ニ

(一六五〇發令)

3SSBヲ急速F散開線(地點ケルヨ〇〇ヨリ地點ケヨヨ〇〇)ニ(散

開順序東ヨリ1173 1174 1175 1176 1177 1178 1179 1180 1181 1182 1183 1184 1185 發令)就カシム

133ハ配備変更ノ途上敵艦上機二機ノ爆撃ヲ受ケタ

ルモ被害ナシ

1517ノ敵発見ニ依リISSBハ直ニ追躡ニ轉ズ

(イ) 二十五日一七二〇。戰場整理ノ爲日没ニ至ルモ敵情ヲ得

ザルモ場合ハ索敵ヲ止メ左ノ配備ニ就ク如ク發令ス

ISSB E2 散開線 (地點ケム00ヨリ地點ケルラ00)

3SSB F2 散開線 (地點ケラリ00ヨリ地點ケヤリ00)

尚7SSBニ對シテハ指揮官所定ニ依リ今夜泊地進入敵

在泊艦攻撃ヲ實施セシメタルモ此ハ湾内敵艦艇ヲ認メズ

(ロ) 二十六日19損傷ノ爲戰場ヨリ避退スルニ付3SS司令官ヲシ

テISSB (現地作戰部隊) ヲ併セ指揮セシム

(ハ) 八月二十七日0000。現在潜水艦配備概況

ISSB (19131欠) E2 散開線 (地點ケム001地點ケルラ00)

19130 修理ノ爲「トラック」ニ回航中

7SSB3SSB  
F2 散開線(地點ケリ00 | 地點ケリ00)  
「ガダルカナル」島附近

(1) 八月二十六日二三〇〇、二十五日二四〇。敵損傷空母 (C2x6) 伴

「ショートランド」島ノ一。度五四哩針路二四。度推定  
速力五節トノ情報ニ依リSSg (115 117 125 欠) ヲ以テ又「テニ」島

(126) 「バニコロ」島 (119) 及其ノ南方海面ヲ搜索 (極力搭載  
機使用) 之ガ捕捉撃滅ヲ命ジタルモ發見スルニ至ラス

之ヨリ先 135g ノ艦 (121) 八同様任務 (「ステワート」島ノ南東  
方五。哩附近) 大破炎上漂流ノ疑アル敵空母搜索処

分一ニテ六日。一五五發令) ニ從事シタルモ之亦敵ヲ發見セ  
ズニテ七日一四五五同任務ヲ解ケリ

(又) 二十七日。八三〇「ガダルカナル」方面敵ノ増援阻止補給路  
遮断ヲ強化スル爲 115g (1175 1176 欠) ヲ7SS 司令官ノ指揮下ニ

未詳  
不明

54  
1175

入上方面ニ配ス

(14) 二十七日三三三四地點ケホホリニ於テ敵潜水艦ノ艦影ヲ

發見燐燐爆發音ヲシキモノニ回聽ク効果ヲ確認シ待

ガリシ是數等沈概ニ確實ト認ム

(15) 二十八日一九一五係ヲSS司令官ノ指揮下ニ入レガタルカナル

島附近ニ配備セシムハ三十日トラスクニ發

(16) 二十八日二一〇〇係地點ケロヤニ於テ敵KDBヲ發見三〇〇

敵驅逐艦ノ制圧ニヨリ之ヲ見失フ

係117133ニ對シ極力敵前程ニ進出攻撃ヲ命ジタルヤKDBヲ

發見スルニ至ラス

(17) 二十八日二二二〇SS(122124欠)ヲSS司令官ノ指揮下ニ入レシ

散開線(地點ケラム38)ニ就カシム

(18) 二十九日〇二三〇係ハ「ステワート」島南東方海面搜索ノ

歸途地點ケルマ15ニ於テ敵KdB (AxI Cd 多数)ヲ發見セルモ  
 攻撃ノ機ヲ得ズ

(夕)二十九日〇七二五GF電令ニ依リ29g (115 117 25 欠)ノ敵損傷  
 空母搜索中止E2散開線復歸ヲ命ズ

(シ)二十九日〇六〇〇似ハ地點ケルミ15ニ於テ再ビ敵KdB (AxI  
 (艦橋ヲ有ス)CX2dx4)ヲ發見セルモ攻撃ノ機ヲ得ズ

(イ)三十日〇七二五似ハ地點ケレヨ21ニ於テ敵KdB (AxI Cd 数隻)  
 ヲ發見セルモ間モナク之ヲ見失フ

(ウ)三十日一ニニ〇ガタルカナル方面潜水艦ハ緊縮配備ヲ以  
 テ極力泊地進入ノ敵艦船ヲ龍衣撃手スル様ニ發令

(ホ)三十日一六一五似ニ對シヌデニ島ヲグラシオサレ湾内飛行  
 艇基地(119飛行偵察ニ依レバ湾内ニ駆逐艦ヲシキモ、  
 一飛行艇六アリ)奇襲撃手滅ヲ命ジ同艦ハ三十一日一七

一五乃至一七二五 飛行偵察ニ依ル飛行艇撃留位置  
 附近ニ對シ砲撃(射距離一〇料)セルモ 効果不明  
 (ナ)三十一日〇四六伍ハ地點ケワモ 於テ敵KdB (AxI BxI CxI d 数  
 隻)ヲ發見 驅逐艦ノ制圧ニ依リ〇ニ〇 其ノ集團音ヲ  
 失ス

(ラ)三十一日〇二〇伍ハ地點ケワム 48ニ於テ敵 KdB (AxI BxI CxI d 多数  
 ヲ發見セルモ 被攻撃ノ爲 龍衣撃手不能

(ム)三十一日〇二〇五ハ地點ケモモ 35ニ於テ敵輸送船(約一  
 五〇〇 艘)雷撃手魚雷二本命中 撃沈概ネ 確據具

(ウ)三十一日〇四四六伍ハ地點ケワム 36ニ於テ敵空母(サラトガ  
 型類似)ヲ龍衣撃手命中音一ヲ聽取セルモ 効果確認シ  
 得ス

(中)三十一日一九三〇 3SS 司令官ハ 1SSB 3SSB ヲ左ノ配備ニ就ケ 散開線

ヲ救正理ス

G 散開線 (地點ケンミ 27 | 地點ケワメ 00)

H 散開線 (地點ケンヤ 27 | 地點ケリヨ 00)

(イ) 九月一日。四三。033ハ地點ケレヤ 36ニ於テ敵戰艦ヲシキ

檣ヲ認メタルモ。五三。0之ヲ見失フ

(ウ) 7SS潜水艦ハ行動力概テ限度附近ニ達シタルヲ以テ

交代ノ爲一日一八四五俣ヲ7SS司令官ノ指揮下ニ入レガ

タルカナル方面監視攻撃手配備ニ就カシム

(ク) 三日一八。0。ガタルカナル方面7SSBハ哨區ヲ撤シ急速救正

備補給ノ爲ヲバウルニ歸投セシメタルヲ以テ115g及112ヲ

3SS司令官ノ指揮下ニ復シ3SSBヲシテ7SSBノ同方面任教ヲ繼

承セシム

(ヤ) 五日一九五。GF電令作第二六三號内案ニ基キ11ニ對シ

修理出来次第「トラック」發「サンタクルース」方面ニ急行爲  
 シ得ル限リ十二日黎明迄ニ「ヌデニ」島「クラシオサ」湾ニ進入  
 敵飛行艇ヲ奇襲撃滅ノ上指揮官所定ノ散開配備  
 ニ就クヘウ發令(「イ」六日一六三〇「トラック」發)更ニ七日〇七五〇  
 發令ニテ「イ」本任務終了後引續キ「バ」ニコロ「島」飛行  
 偵察ヲ命ズ

(マ)六日一二〇〇GF電令作第二六三號ニ「基」キ「1389」ノ艦ヲ「イ」  
 「ン」デ「ス」ア「ン」サ「ブル」礁ニ配シ九月十一日以降特令スル迄水  
 偵隊ノ基地ニ任ゼシムベク發令

但シ似ハ損傷修理ノ爲内地回航ヲ要シ似モ故障個  
 所應急修理ノ要アリ十三日午前現地着ノ見込  
 (ケ)六日〇九一〇「川」ハ地點ケラルル48ニ於テ敵空母(「エ」ン「ター」  
 「イ」ス「類似」)一大巡ニ驅逐艦數隻又發見



○九四九敵空母雷撃命中二本命中三分後爆發音ヲ  
 聽ク、川ハ攻撃後敵驅逐艦ノ爆雷攻撃ヲ受ケ潜航  
 不能ニ陥リトラックニ回航

(フ)七日一八一四川ニ對シトラックニ歸投ヲ命ジ八日〇〇〇  
 ヨリISS司令官ヲシテISSB及3SSB(現地作戰部隊)ノ指揮  
 ヲ執ラシム同時刻以後3SgヲISSBニ編入ス(19八日〇八〇〇サ  
 ンタクルース方面ニ向ケトラックニ發)

(コ)八日〇〇〇ISS司令官ハISSBノ散開配備ヲ左ノ通改ム

I 散開線(地點ケワモ32ノ地點ケリヨ00)

丁 散開線(地點ケヨリ00ノ地點ケユリ31)

東ヨリ124 121 126 119 115 117 及 133 131ノ順散開距離ニ〇哩

19八十二日夜明以後I散開線ノ東方ヲ行動ス

四 令達報告等

五  
戰  
別  
紙  
果

艦名	月日	時刻	地点	攻撃目標	効
034	八月廿一日	一六二七	心が池	嚴重敬言戒裡三砲 泊中、敵一萬噸級 運送船一隻	魚雷一命中沈没確認 尚外三敬言戒驅逐艦一隻モ 魚雷命中沈没セル公算アリ
034	八月廿二日	三三四	ケホホ	低速航行中、敵 浮上潜水艦	魚雷爆發音ニテ聞ク敵 沈概不確實
川	八月廿五日	ケモモ	35	敬言戒セル航行中 一萬噸級運送船	魚雷ニ命中沈没概不確 實
126	八月廿四日	ケワム	36	サトガ型類似 ノ空母	魚雷一命中損傷ヲ與ヘシ コト確實十月二十七日敵捕 虜ノ言ニヨレバ「サトガ型空母

被害並故障

イ川				
九月六日				
〇九四九				
ケル48				
類似、空母	AXIC2d 数隻ヨリル エンタープライズ型			
損傷ヲ與ヘシコト確實	魚雷ニ命中三分後誘爆 音ヲ聞ク大破程度以上ノ			八月末日魚雷攻撃ヲ受テ損傷九月末真珠港ニ入港セリト

(一) 二十四日以降、追躡行動中左、被害ヲ受ク

(イ) 敵爆雷ニヨリ潜望鏡水防眼鏡全部使用不能

(ロ) 製作不良ニ基ク、セント弁(大部分)、油圧開閉不能

(ハ) 敵機ノ爆撃ヲ銃撃及哨戒艇ノ爆雷攻撃ニヨリ右ノメインタ

ンク、四個ニ破孔ヲ生ジ、戦闘航海ニ支障ヲ生ズ

(後刻應急修理ニヨリ、戦場残留可能トナル)

イ931ニ對シテハPTニ回航修理ヲ命ズ

16

- (二) 八月二十八日二三四五發令ノ左ノ電報發信(二十九日  
〇一二)後消息ヲ絶ツ
- 二三二五敵ランキ飛行機本體上空(高度約一五〇米)  
ニテ信號拳銃ヲ發射スルヲ認メ避退潜航ス地點  
ケルホ<sup>39</sup>レ
- (三) 八月二十七日〇四三〇敵飛行機ノ爆撃ニ依リタンク漏洩  
機雷取入口及軸管漏水(大)ノ被害ヲ生ジ潜航ニ  
支障アリ内地ニ回航修理ノコトナレリ
- (四) 八月九日六日龍衣撃後敵敬言戒艦艇ノ爆雷攻撃ヲ受  
ケ主蓄電池兩群トモ大部破損潜望鏡損傷其ノ  
他潜航不能ニ陥リトラクノ經由内地ニ歸還修理ヲ  
命<sup>ズ</sup>ス
- (五) 似クラツチ嵌脱不具合其他数件ノ相當大ナル故障ヲ

生起スラバウルニテ應急修理ノ上水偵基地任務  
ニ従事ス

(六) 〇三ハコミルネ湾方面ヲビニ作戦協力中九月三日以降消  
息ヲ絶ツ

六功績

(一) 〇三八月二十三日一六三七最重ナル敵ノ警戒戒幕ヲ潜航突  
破コルンガ泊地ニ侵入敵輸送船一隻(一萬噸級)ヲ雷  
撃ヲ沈(確實)尚山上ニアル我カ見張ハ驅逐艦沈没ヲ  
確認スセルハ爾後我が軍ニ資セル所大ニシテ其ノ功  
績顯著者ナリ

(二) 〇三八月二十七日二三三四地點ケホホ川ニ於テ敵浮上潜水  
艦ヲ攻撃テ効果ヲ確認シ得サリシモ數手沈概ニ確實  
ト認メラレ其ノ功績大ナリ

ク

(三) 八月三十一日。二。五地點ケモモ35ニ於テ敵輸送船一  
 隻(一五。〇。〇。艇)攻撃手々沈概ネ確實ナルハ其功績  
 大ナリ

(四) 八月三十一日。四。四六地點ケワム36ニ於テ敵空母(「サ  
 ラトガ」型類似)ヲ攻撃手魚雷一命中セシメタルハ爾後ノ  
 作戦ニ寄與スル所大ニシテ其ノ功績顯著ナリ

(五) 八月九日。九。四九地點ケラル48ニ於テ敵空母(「エシ  
 タープライズ」型類似)ヲ攻撃手魚雷二命中セシメタルハ爾  
 後ノ作戦ニ寄與スル所大ニシテ其ノ功績顯著ナリ

七戦訓所見  
 別途提出

(終)